

## ■DataNature/E ver3.2 機能追加、変更点一覧

サーバー機能(22項目)				
No	大分類	概要	備考	Basic
新機能(4)				
1	ファイル出力設定	【WEBレポート】グラドルダウン機能	Webレポート表示において、ブラウザ上のグラフでドリルダウン操作ができる機能。	○
2	ファイル出力設定	【アウトプット自動生成】PDFファイル自動出力機能	定型アウトプット(集計表)をPDF形式ファイルに自動出力できる機能。Webレポート表示にも対応。	○
3	システム設定	【クライアント通知】管理者がメッセージ配信機能	サーバー管理ツールとクライアント機能のバージョン情報の自動判別結果や、管理者が設定する任意のメッセージをクライアントへ配信できる機能。	○
4	システム設定	【登録情報出力】登録リストのHTML出力機能	サーバー管理ツールの各種登録リスト内容をHTML形式で出力し、一覧表示できる機能。	○
機能追加(4)				
5	データ加工設定	【データ加工】対象項目の桁数揃え機能	桁数が揃っていないデータの前後に「0」や「スペース」を追加することで桁数を揃えることができる機能。	×
6	データ加工設定	【データ加工】時間計算機能の追加	例えば、[退勤時間]-[出勤時間]=[勤務時間]のように、2つの時間データを減算し、その経過時間を計算する機能。減算した結果は、時間表記(hh:mm:ss)や、時/分/秒単位で表示可能。	×
7	スケジュール設定	【タスク実行】タスク実行結果メール配信機能	タスクの実行結果をメール配信する機能(エラー時のみ送信/常に送信/送信しない)。	○
8	セキュリティ設定	【機能ボタン】Excel出力、PDF出力のON/OFFの配信	セキュリティの観点から、[Excel出力]、[PDF出力]をクライアントのメニューに「表示する」か「表示しない」かの設定をクライアントへ配信する機能。	×
機能拡張(9)				
9	システム設定	【ユーザー認証】ActiveDirectory連動	ActiveDirectoryのユーザー情報をDataNature/Eのユーザー認証に利用できる機能。	○
10	データ抽出設定	【DBアクセス】抽出条件の指定方法の追加	RDBからのデータ抽出条件として、「今日-n日」等の指定ができる機能。	○
11	データ抽出設定	【DBアクセス】日付として扱える項目型の追加	RDBからのデータ抽出条件で、文字型や数値型の日付データを日付型に変換し、日付の条件として扱える機能。	○
12	データ連結設定	【データ結合】結合結果の並べ替え機能	結合した結果を、指定の順序(「関連づけ項目順」、「基ファイル順」、「マスターファイルレコード順」)に並べ替える機能。	○
13	データ連結設定	【データ結合】結合方法に「不一致」を追加	結合方法に「不一致」を追加。関連付け項目に設定したデータで一致しなかったレコードをCSVファイルに出力する機能。	○
14	データ連結設定	【データ連結】CSVファイルの一括連結	指定フォルダ内のCSVファイルを一括で連結する機能。	○
15	ファイル出力設定	【Excel出力】Excelブック形式の出力	指定したテーマの定型アウトプット(集計表)を、定型ごとにシートを分け、1つのExcelブックに出力する機能。	○
16	ファイル出力設定	【ファイル出力設定】項目名の取得先指定(CSV/テーマ)	ファイル出力設定で登録された処理を実行する時に、「データファイル」の項目名を利用するか、「テーマファイル」で記憶されている項目名を利用するかを選択できる機能。専用ファイル出力は除く。	○
17	セキュリティ設定	【機能ボタン】期間・日付項目の自動判別の配信	「期間項目」、「日付項目」の自動判定(する/しない)の設定をクライアントへ配信する機能。	○
操作性の向上(5)				
18	共通	【適用ボタン】適用ボタンの表示方法の見直し	【適用】ボタンが不要な機能タブが選択された場合に、【適用】ボタンを非表示するように改良。	○
19	共通	【登録リスト】ジョブ登録リストの操作性向上	サーバー管理ツールの各種ジョブ登録リスト及びログにおいて、「検索」等の機能を追加。	○
20	ファイル出力設定	【ファイル出力設定】クライアント起動ボタンの追加	クライアント起動ボタンを追加し、サーバー管理ツールからクライアントを起動し、定型内容の変更・確認が行えるように改良。	○
21	スケジュール設定	【タスク設定】ジョブ選択ダイアログでのソート	スケジュール設定で、ジョブ選択リストをソートできるように改良。	○
22	ETL設定	【ETL】処理対象ジョブ一覧のソートや幅の調整	IDのカラムのソートや各カラムの列幅を自動調整する等の改良。	×

クライアント機能(21項目)				
No	大分類	概要	備考	Basic
新機能(3)				
1	ビュー/リスト画面	【データ出力】集計表のPDF出力(オプション)	表示中の集計表を、PDF形式ファイルに出力する機能。パスワード設定、テキストコピー・印刷の制御の設定も可能。	○
2	ビュー画面	【印刷】階層付きクロス集計表の印刷・プレビュー表示の追加	階層を展開したクロス集計表を印刷(プレビュー)する機能。	○
3	ビュー/リスト画面	【データ出力】Excel出力(マクロ対応)	DataNatureに内蔵されたExcelマクロにより、罫線や合計欄の色、レイアウト調整を自動的にを行い、Excelファイルとして出力する機能。	○
機能追加(5)				
4	リスト画面	【リスト】集計対象となった項目数の表示	集計時、集計対象項目の個数を小計欄に表示する機能(ボタンの個数表示)。	○
5	リスト画面	【リスト】集計方法の追加(構成比、累計)	集計方法に、「構成比」、「累計」、「累計構成比」を追加。	○
6	リスト画面	【リスト】マルチフォーカス対応	集計時、数値項目ごとに複数の集計方法を設定できる機能。	○
7	リスト画面	【印刷】同一項目名称の非表示	同一名称を非表示にし、セルを結合して印刷する機能。	○
8	リスト画面	【印刷】集計項目単位(小計・中計等)での改ページ	集計対象項目単位(小計・中計等)で改ページして印刷する機能。	○
機能拡張(8)				
9	ソースデータ画面	【期間設定】期間項目への締め日の反映	年度、上期/下期、四半期において、設定した締め日を反映させるかどうかの設定を追加。日付から期間の設定で「週」を追加する場合に、週の「単位(年/月)」「開始曜日(日曜/月曜)」、「1週目の基準(1日/開始曜日)」の指定を追加。	○
10	ソースデータ画面	【期間設定】「週」の設定方法の追加	日付項目や期間項目として扱える書式になっている項目を自動認識する機能。自動認識された日付項目は、任意の日付形式に変更することも可能。	○
11	ソースデータ画面	【データ型】日付・期間項目の自動判別	日付項目や期間項目として扱える書式になっている項目を自動認識する機能。自動認識された日付項目は、任意の日付形式に変更することも可能。	○
12	ソースデータ画面	【テーマ適用】項目名の適用(CSV/テーマ)	項目名を「CSVデータ」から取得するか、「テーマ情報」から取得するかを設定を追加。	○
13	CSV絞込みツール	【CSV絞込】絞り込み条件の拡張	条件項目数の拡大(5→10へ)、論理式(AND/OR)やカッコを利用した条件の優先順位付け機能の追加。	○
14	ビュー/リスト画面	【印刷】タイトルの印刷設定項目追加	タイトルの印字位置の設定(左/中央/右、1ページのみ/全ページ)を追加。	○
15	ビュー/リスト画面	【印刷】ヘッダー/フッターの印刷設定項目追加	印字ページの指定、印字項目の設定(総ページ数、読み込み中のCSVやDSFファイルの名称、フルパス、更新日、更新時刻)の追加。	○
16	CSV絞込みツール	【CSV絞込】マスターファイルへの対応	選択条件で指定したマスターファイルの最新の情報を参照する設定を追加。	○
操作性の向上(5)				
17	リスト画面	【リスト】ボタン→リスト時の前回の状態保持	集計を実行後、ボタン画面に戻っても集計状態を維持できるように改良。	○
18	リスト画面	【リスト】ボタンクラスの表示/非表示と連動	ボタン画面のボタンクラスの表示/非表示の設定をリスト画面に反映するように改良。	○
19	ビュー画面	【ビュー】フォーカスボタンのツールチップ表示	フォーカスボタン(数値項目)にツールチップを表示するように改良。数値項目の名称が見切れているときに有効。	○
20	印刷	【印刷】ダイアログの操作性の見直し	印刷設定ダイアログのレイアウト変更、設定内容の充実を図るなど、操作性を見直した。	○
21	定型	【定型】定型名称変更時のメッセージ表示	定型一覧設定ダイアログで、名称変更時に確認メッセージを表示するように改良。	○

※ DataNature6(R04)は、「PDF出力機能」に対応していません。

バージョンアップ機能(クライアント編)の詳細は[こちら](#)をご覧ください。